



親子向け



編集機能



東京すくすく

社内所属局横断チーム「東京新聞子育て部」がWEBサイトを開設

東京新聞「子育て」コンテンツメディア
【東京すくすく】9月13日オープン

私事だが、小学生と未就学児の娘がいる。

朝4時半に起きてから夜9時半に娘より先に疲れ果てて寝てしまう瞬間まで、ほぼ休む時間がない。保育園の大変さはもとより、小学生の方が大変だと入学して初めて気づく。何より愛知県で生まれ育った私にとって、東京での子育ては未知の領域で、地域も文化もまったく違う。公園なのにボール遊びをしてはいけない、電車にベビーカーで乗ろうとしたら嫌な顔をされる。なんだか窮屈さを感じていたところ、同じようなことを感じていた記者が東京新聞編集局におり、子育て世代とつながるための情報発信をしたいという構想を持っていた。それ来た！とばかりに相乗りした形だが、社内で所属局を横断する子育て当事者たちが集まって有志の形からスタートした「東京新聞子育て部」がいよいよ本気で「東京すくすく」としてWEBサイトをオープンした。

<https://sukusuku.tokyo-np.co.jp>



東京すくすくへの
応援メッセージを著名人・
専門家の方から寄せて
いただきました。



2018年9月13日付東京新聞朝刊

@tokyosukusuku

@tokyo.kosodate

東京新聞子育て部Facebook
(2017年5月～)は9月13日に
「東京すくすく」に改称し継続中

これまでの道のりを話し出すとどれだけ字数があっても足りないが、とにかく構想から1年9ヶ月を経てようやくスタート位置に立つことができた。目標は、東京で子育てにかかわる人が少しでもほっとできるような情報を共有しつつつながりを広げていくこと。子どもフィルターを通すと気になって仕方のない、尽きることのない悩みや困りごとが「なんだ大したことなかったんだ」と親たちの頭の中の終了ボックスに入れられること。こんなことを目指している。

新聞社だからできること、新聞では書ききれないことを中心に、こんなこと知りたかったんだよねと子育て当事者のみなさんのかゆいところ、もやもやしているところを理解してサイト運営に取り組んでいく。なにより悩んだのはサイトの顔であるサイト名。子育てコンテンツメディアであることを想起しやすい「ママ」や「母」という言葉を使わなかったのは子育ては夫婦、家族、地域など取り巻く環境すべてが包括的に関わってほしいということを表現したかったから。名前のとおりサイトもすくすくと育っていけるよう、編集チームを中心に東京新聞全社で取り組んでいく覚悟だ。

(東京本社広告局営業推進部 山中裕子)